シンポジウム

守れ！北海道の『生産空間』

～地域が存続していくために今何が必要か～

人口減少・高齢化の急速な進展等により、北海道では、今後、食や観光などの北海道の強みを提供する「生産空間」の維持が困難になるおそれがあります。

そのため、地域の生き残りを賭けて、道内の各地域で人々が生産空間に住み続けられる環境づくりを進めることが急務となっています。

本シンポジウムは、北海道総合開発計画の一環として、モデル的に検討を進めてきた取組を参考にしつつ、全道の各地域において、生産空間の維持・発展に向けた取組を地域を挙げて行うことの必要性について認識を深めていただき、そこに住み続けられる環境づくりを進めるための契機として開催するものです。

日時 平成31年2月28日(木)
13：00～16：30
(開場12：30)

場所 札幌市教育文化会館
小ホール
（札幌市中央区北1条西13丁目）

＜主催＞国土交通省北海道開発局

プログラム

特別講演

地域と共に歩み存続する経営

丸谷 智保氏　株式会社セコマ 代表取締役社長

基調講演

生産空間検討の意義と課題

石田 東生氏　日本大学交通システム工学科 特任教授
国土審議会 委員

取組報告

モデル地域における取組の状況

国土交通省北海道開発局

パネルディスカッション

人口減少が進む中、地域が生き残り、食・観光などの強みを維持し続けるため、今どのような取組が必要か？

○アドバイザー　石田 東生氏　日本大学交通システム工学科 特任教授
国土審議会 委員

○コーディネーター　五十嵐 智嘉子氏　（一社）北海道総合研究調査会 理事長

○パネリスト（五十音順で掲載）
秋元 和夫氏　帯広信用金庫 常務執行役員 地域経済振興部長
池本 美紀氏　しりべし女子会 会長
藤田 健慈氏　名寄商工会議所 会頭

入場無料
2月26日(火)申込締切
定員180名

★札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅1番出口から徒歩5分
★市電「西15丁目」停から徒歩10分
★バス「北1条西12丁目」停から徒歩1分

本シンポジウムは土木学会および農業農村工学会※の認定CPDプログラムです。
※認定許可申請中

＜後援＞北洋銀行、北海道銀行、北海道経済同友会、北海道経済連合会、（一社）北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、（一社）北海道中小企業家同友会、（一社）シーニックバイウェイ支援センター、NPO法人わが村は美しく－北海道ネットワーク、北海道市長会、北海道町村会、北海道、農林水産省北海道農政事務所、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道運輸局

Profile／プロフィール

株式会社セコマ 代表取締役社長　丸谷 智保（まるたに ともやす）　氏

池田町出身。慶應義塾大学法学部卒業後、株式会社北海道拓殖銀行での勤務を経て、シティバンク、エヌ・エイに入行、顧客・人材開発本部長などを務める。2007年に株式会社セイコーマート（現株式会社セコマ）に入社、専務取締役、取締役副社長を経て2009年より現職。2014年内閣府経済財政諮問会議政策コメンテーター就任。NACS International Board of Directors。

日本大学交通システム工学科 特任教授、国土審議会 委員　石田 東生（いしだ はるお）　氏

大阪府生まれ。工学博士。東京大学土木工学科卒業後、フィリピン大学客員教授、筑波大学社会工学域教授などを経て2017年より現職。専門分野は交通政策・国土政策・都市計画。国土交通省社会資本整備審議会・国土審議会委員、経済産業省産業構造審議会臨時委員、（一財）日本みち研究所理事長などを務める。著書に『都市の未来』（共著）日本経済新聞社、『みち　創り・使い・暮らす』技報堂、『環境を考えたクルマ社会』（共著）技報堂などがある。

一般社団法人北海道総合研究調査会 理事長　五十嵐 智嘉子（いがらし ちかこ）　氏

札幌市生まれ。北海道大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学後、一般社団法人北海道総合研究調査会に研究員として入会。以降、常務理事、専務理事などを経て2012年より現職。国土審議会北海道開発分科会計画推進部会委員。介護保険制度、高齢者ケアアセスメント、地域福祉の推進に関する調査・研究、地域の社会的企業支援事業等に関する実践に携わり、近年は、生活困窮者自立支援制度や、人口減少社会に関する調査・研究等に取り組む。これまでに内閣官房まち・ひと・しごと創生本部参事官を務める。

帯広信用金庫 常務執行役員 地域経済振興部長　秋元 和夫（あきもと かずお）　氏

埼玉県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、日本銀行に入行。帯広事務所長、調査統計局地域経済担当企画役などを経て2009年に退職。同年、帯広信用金庫に入庫、新設の地域経済振興部長に就任。幅広いネットワークや経験等をもとに、産学官・農商工と金融の連携、地域間の連携などを進めながら、十勝の豊かな地域資源を活かした経済振興に注力。これまでに帯広市中心市街地活性化協議会会長などを務める。

しりべし女子会 会長　池本 美紀（いけもと みき）　氏

神恵内村生まれ。岩内高等学校商業科卒業後、北海道銀行岩内支店勤務を経て結婚を機に退社。夫とともに「民宿きのえ荘」を神恵内村に開業。２人の子供を育てながら女将として民宿を切り盛りする傍ら、神恵内村魅力創造研究会で村の活性化に取り組みつつ、「後志の潤滑油になりたい」との思いで「しりべし女子会」を設立。後志地域の魅力を発信するなど、そのネットワークを生かした活動を展開。

名寄商工会議所 会頭　藤田 健慈（ふじた けんじ）　氏

名寄市生まれ。神奈川大学工学部卒業後、東京でのガス会社勤務を経て、藤田産業株式会社（名寄市）に入社。2002年に同社社長、2013年に名寄商工会議所会頭に就任。地域経済の発展に尽力するとともに、地域の生活や生産活動を支える物流の維持に地域を挙げて取り組むべく「名寄地域連携物流システム検討協議会」を設立。共同輸送等の物流効率化に取り組むとともに、名寄市の道北北部における物流拠点化を目指す。

[参加申込方法]

1　ＦＡＸで申込みの場合
参加申込書に必要事項を記載の上、
下記番号へ送信してください
ＦＡＸ：011-736-5859

2　E-Mailでお申込みの場合
必要事項をメール本文に入力の上、
下記アドレスへ送信してください
E-Mail：hkd-ky-kukansympo@mlit.go.jp

[お問合せ先]　国土交通省北海道開発局開発監理部開発調査課　小林（靖）、出口（011-709-2311（代表）内5541、5440）

「守れ！北海道の『生産空間』シンポジウム」参加申込書

■会社名及び部署名

■参加者 (全員の役職・氏名をご記入願います)

所属・役職	氏名	**農業農村工学会**CPD登録番号　※

■ご連絡先

ご担当者氏名			
電話番号		E-mail	

○ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの開催に伴う事務手続きに限り使用いたします。
○このシンポジウムは（公社）土木学会及び（公社）農業農村工学会継続教育（ＣＰＤ）プログラムに認定されています。
受講証明書の発行を希望される方は、本人確認を行いますので、顔写真入り身分証明書（運転免許証、監理技術者証等）をお持ち下さい。
※**（公社）農業農村工学会技術者継続教育機構の登録者（会員）の方**は、主催者側で一括してＣＰＤ記録を申請しますので、個人のＣＰＤ登録番号を忘れずに記載して下さい。（農業農村工学会以外の方は記載不要です。）